業況は悪化、来期はほぼ横ばいの見通し

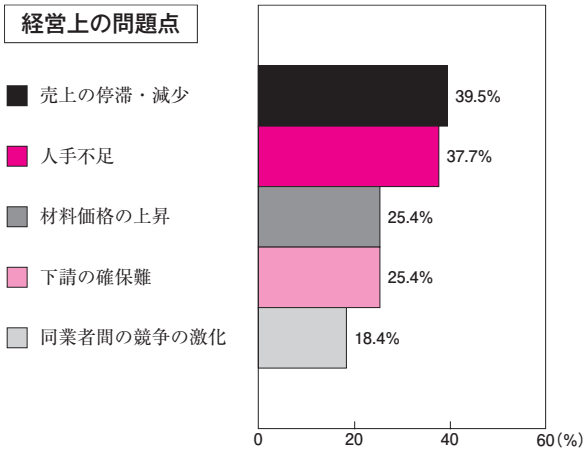
前　期	今　期	見通し
☂	☂	☁/☂

売上額ＤＩは▲26.3で大幅に悪化、収益ＤＩは▲27.2で悪化しました。資金繰りＤＩは10.6でやや改善しました。価格は材料価格ＤＩが42.1で上昇、請負価格ＤＩは▲7.9で低下しました。

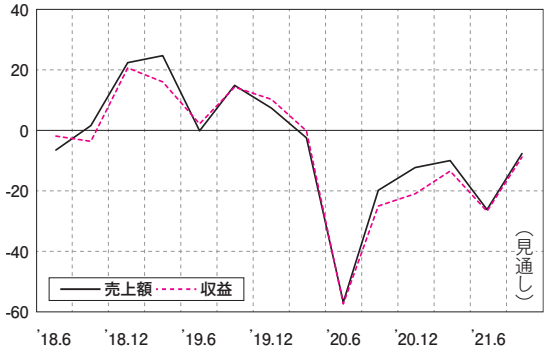
来期は、売上額ＤＩ、収益ＤＩがともに大幅に改善の見通しです。価格は材料価格ＤＩが横ばい、請負価格ＤＩが上昇の見通しです。

業況ＤＩは▲16.7で悪化。来期はほぼ横ばいの見通しです。

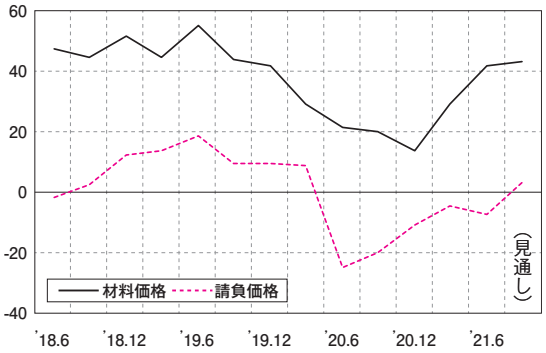
経営上の問題点



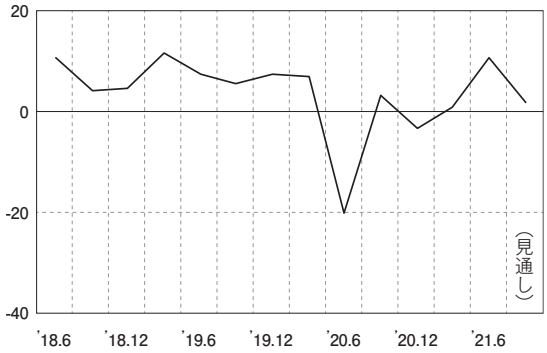
売上額・収益ＤＩ（前期比）



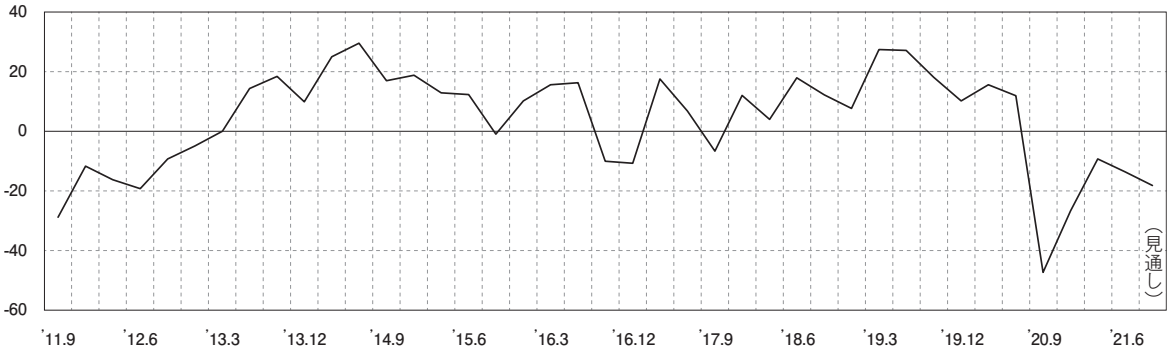
価格ＤＩ



資金繰りＤＩ



10年間の推移（業況ＤＩ）



お客様の声

・現在は順調ですが、いつ、どこで、どの様な災害が降りかかるか解らず、毎日がその件で薄氷を踏む思いです。
（宝塚市　電気・通信・土木工事業）

・先行きの受注量確保に公共工事の低価格入札の増加するも木材等の価格高騰、専門職の職人不足で原価が下がらない。デベロッパー等からの発注・見積依頼増加も土地高騰取得のため建設業者の負担増を請け負う業者が少ない。今後の景気回復を願う。
（尼崎市　総合建設業）